



## 2019年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月4日

上場会社名 BEENOS株式会社

上場取引所 東

コード番号 3328 URL <https://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松田 久典

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	5,309	1.1	314		288		200	
2018年9月期第1四半期	5,365	8.0	94	7.3	137	78.7	37	

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 313百万円 ( %) 2018年9月期第1四半期 70百万円 ( 70.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	16.46	
2018年9月期第1四半期	3.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	16,253	9,188	47.4	635.10
2018年9月期	15,691	9,791	52.4	673.52

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 7,699百万円 2018年9月期 8,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		13.00	13.00
2019年9月期					
2019年9月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年9月期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

2019年9月期の連結業績予想につきましては開示を見合わせており記載しておりません。詳しくは、P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	12,332,600 株	2018年9月期	12,332,600 株
期末自己株式数	2019年9月期1Q	209,078 株	2018年9月期	129,678 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	12,185,672 株	2018年9月期1Q	12,239,627 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2018年9月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	13円 00銭	13円 00銭
配当金総額	158百万円	158百万円

(注) 純資産減少割合 0.030

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、グローバル領域において新しい市場を創造するために、コアバリューであるEコマース事業の「ノウハウとデータ」、インキュベーション事業の「世界中の投資先ネットワーク」をかけあわせて、日本と世界を繋ぐ「グローバルプラットフォーム」を目指し事業展開をしております。

既存事業は、次の成長に向けた転換期にあると認識しており、各事業構造の見直しを推進し、同時に「パーティカル構想（カテゴリーごとに顧客ニーズにあわせた付加価値の高い特化型ショッピングサイト）の展開」や「物販アービトラージ（世界中から商品価格情報を取得し世界中の消費者に最安値情報を提供）の本格始動」などの新規事業創造を積極的に推進しております

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,309,337千円（前年同期比1.1%減）、営業損失は314,181千円（前年同期は営業利益94,570千円）、経常損失は288,634千円（前年同期は経常利益137,181千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は200,621千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益37,390千円）となりました。

なお、当社が経営指標として重視している流通総額（国内外における商品流通額）につきましては、当第1四半期連結累計期間では116億円（今期の計画は500億円）となっております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①Eコマース事業

##### 1-1 クロスボーダー部門

「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、英語対応のためのカスタマーサポート拠点の新設など、ユーザーからの問い合わせ対応のより一層の迅速化をはかり、積極的にユーザー満足度向上施策を実施したことで売上高は堅調に推移しました。また、オペレーションの効率化のためのシステム導入やコスト削減施策へ向けた先行投資を行いました。

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、ヤフー株式会社が運営するヤフオク！とのデータ連携による販売チャネルの拡大や、ユーザービリティ向上を目的とした基幹システムの入替えを実施いたしました。一方で検索エンジンのアルゴリズム変更が、SEOに影響したことにより、ユーザー数と売上高が減少しました。また、基幹システム入れ替えに伴う一時的な費用増が発生し赤字となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,163,365千円（前年同期比4.0%増）、営業利益は93,949千円（前年同期比46.2%減）となりました。

##### 1-2 バリューサイクル部門

「ブランド品・アパレル買取販売事業」におきましては、自社の強みである「まとめ売り」「換金スピード」を訴求したテレビCMを開始した結果、買取金額は前年同期比で31.0%増加しました。さらに今期は、自社販路である「ブランディアオークション」の販売力強化のための新テレビCMを開始し、売上高は堅調に推移した一方で、取扱商品を高価格帯にシフトさせたことで、単価は上昇したものの売上総利益率が低下しております。また積極的な広告宣伝費投下の結果赤字となりました。

「酒類買取販売事業」におきましては、店舗買取に加え、商業施設や大型マンションでの催事出店による買取施策を実施した他、在庫管理体制を強化し、在庫回転率の改善に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,353,146千円（前期同期比22.4%増）、営業損失は229,923千円（前年同期は営業利益22,750千円）となりました。

##### 1-3 リテールライセンス部門

エンターテインメント事業では、新規のアーティストの商品取り扱いを開始した他、商品プロデュース・ライセンス事業ではポケモンギフトコスメシリーズ（フェイスマスク・リップクリーム・ハンドクリーム・リップグロス）の販売が好調に推移しました。また、フレグランスボディケアブランドSWATi（スワティー）においては既存商品のリニューアルや、新商品の開発などにより、ブランド力、商品力の強化を図るとともに、ブランドイメージの刷新に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は781,290千円（前年同期比47.3%減）、営業利益は9,578千円（前年同期比80.2%減）となりました。

なお、前年同期比で売上高が大幅に減少している原因は、アーティストのイベント開催によって売上高が増減する傾向があるエンターテインメント事業において、イベント開催時期が不定期（前年同期はイベントが集中いたしました）であること、前年同期まで同部門に含まれていた株式会社ネットプライスを株式譲渡により連結の範囲から除外したことであります。

Eコマース事業全体では、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,297,802千円（前年同期比0.8%減）、営業損失は126,396千円（前年同期は営業利益245,688千円）となりました。

## ②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、インドを中心とした新興国ではオンラインマーケットプレイス企業やオンライン決済企業を中心とした投資を進めて参りました。また、日本国内ではインバウンド消費関連市場のスタートアップ企業を中心とした投資を積極的に進めております。

既存の投資先については、事業成長にあわせて適切と考えるタイミングで投資回収を進めておりますが、当第1四半期においては、特記すべき売却の発生はありませんでした。

また、保有する営業投資有価証券について、毎四半期ごとに一定の基準に基づいた評価（引当又は減損）を行っております。

「新規事業」におきましては、Eコマース事業で蓄積したビジネスノウハウと投資育成事業で構築した投資先企業群とのネットワーク等を活用し、「バーティカル構想」「物販アービトラージ」の実現に向けた新規事業の創造を推進し、積極的に投資を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,980千円（前年同期比39.4%減）、営業損失は87,125千円（前年同期は営業損失45,759千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ562,217千円増加し、16,253,380千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が13,884,476千円となり、前連結会計年度末と比べ571,724千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、未収入金762,516千円、商品495,915千円、受取手形及び売掛金229,371千円、営業投資有価証券206,323千円の増加であり、減少要因としては、現金及び預金1,407,025千円の減少であります。

また、固定資産合計は、2,368,903千円となり、前連結会計年度末と比べ9,506千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、繰延税金資産31,527千円の増加であり、減少要因としては、のれん23,342千円、投資有価証券15,768千円の減少であります。

(ii) 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は7,064,515千円となり、前連結会計年度末と比べ1,164,401千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が6,858,153千円となり、前連結会計年度末と比べ1,165,826千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、預り金1,029,808千円、短期借入金539,700千円の増加であり、減少要因としては、未払法人税等348,086千円、支払手形及び買掛金78,066千円の減少であります。

また、固定負債合計は、206,362千円となり、前連結会計年度末と比べ1,425千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金2,220千円の減少であります。

(iii) 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は9,188,864千円となり、前連結会計年度末と比べ602,183千円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金200,621千円、資本剰余金158,637千円の減少、自己株式117,050千円の取得による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の通期の連結業績予想につきましては、インキュベーション事業において、売上（売却益）の発生時期及び金額を見積もり発表することが合理的ではないと判断していること、また新規事業への積極的な取り組みを重要戦略として計画しておりますが、その投資の時期や金額の規模については、機動的に判断していく予定であることから、業績予想の開示を見合わせております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



### 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,920,068	4,513,043
受取手形及び売掛金	812,851	1,042,223
営業投資有価証券	2,896,984	3,103,308
商品	1,840,210	2,336,125
未収入金	1,016,021	1,778,538
その他	843,394	1,125,728
貸倒引当金	△16,779	△14,490
流動資産合計	13,312,752	13,884,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	603,914	593,081
減価償却累計額	△205,702	△218,324
建物及び構築物(純額)	398,211	374,757
車両運搬具	9,512	9,409
減価償却累計額	△7,329	△7,539
車両運搬具(純額)	2,182	1,869
工具、器具及び備品	156,576	173,360
減価償却累計額	△97,647	△102,872
工具、器具及び備品(純額)	58,929	70,487
有形固定資産合計	459,323	447,114
無形固定資産		
のれん	351,469	328,127
その他	156,312	161,098
無形固定資産合計	507,781	489,225
投資その他の資産		
投資有価証券	844,765	828,997
繰延税金資産	129,508	161,035
その他	437,030	442,529
投資その他の資産合計	1,411,304	1,432,562
固定資産合計	2,378,409	2,368,903
資産合計	15,691,162	16,253,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	379,240	301,174
短期借入金	1,634,200	2,173,900
1年内返済予定の長期借入金	8,880	8,880
未払金	2,339,416	2,394,709
預り金	583,976	1,613,785
未払法人税等	369,568	21,481
その他	377,044	344,222
流動負債合計	5,692,326	6,858,153
固定負債		
長期借入金	19,380	17,160
繰延税金負債	—	398
資産除去債務	188,407	188,804
固定負債合計	207,787	206,362
負債合計	5,900,114	7,064,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,775,840	2,775,840
資本剰余金	2,701,215	2,542,577
利益剰余金	2,889,400	2,688,778
自己株式	△187,303	△304,353
株主資本合計	8,179,153	7,702,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△231,866	△182,435
為替換算調整勘定	271,630	179,232
その他の包括利益累計額合計	39,763	△3,203
新株予約権	21,406	27,769
非支配株主持分	1,550,724	1,461,455
純資産合計	9,791,048	9,188,864
負債純資産合計	15,691,162	16,253,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	5,365,542	5,309,337
売上原価	2,510,226	2,793,368
売上総利益	2,855,315	2,515,969
販売費及び一般管理費	2,760,744	2,830,150
営業利益又は営業損失(△)	94,570	△314,181
営業外収益		
受取利息	9	28
為替差益	—	3,907
持分法による投資利益	22,743	19,936
助成金収入	—	2,621
投資事業組合運用益	36,933	—
その他	4,644	8,907
営業外収益合計	64,331	35,401
営業外費用		
支払利息	3,182	3,456
為替差損	18,487	—
支払手数料	—	819
投資事業組合運用損	—	5,308
その他	51	270
営業外費用合計	21,721	9,854
経常利益又は経常損失(△)	137,181	△288,634
特別利益		
関係会社株式売却益	24,187	—
特別利益合計	24,187	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	161,368	△288,634
法人税、住民税及び事業税	23,113	7,222
法人税等調整額	93,977	△25,515
法人税等合計	117,090	△18,292
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,277	△270,341
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6,887	△69,719
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	37,390	△200,621

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,277	△270,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,080	49,341
為替換算調整勘定	18,726	△87,248
持分法適用会社に対する持分相当額	144	△5,059
その他の包括利益合計	25,952	△42,966
四半期包括利益	70,229	△313,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,342	△243,588
非支配株主に係る四半期包括利益	6,887	△69,719

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,118,810	2,739,308	1,482,598	5,340,717	24,701	5,365,418	123	5,365,542
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	169	—	508	678	—	678	△678	—
計	1,118,980	2,739,308	1,483,106	5,341,395	24,701	5,366,096	△554	5,365,542
セグメント利益 又は損失(△)	174,459	22,750	48,478	245,688	△45,759	199,929	△105,358	94,570

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105,358千円には、セグメント間取引の消去△176,901千円、各報告セグメントに配分していない全社収益241,159千円及び全社費用△169,616千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,160,567	3,353,146	780,643	5,294,357	14,980	5,309,337	—	5,309,337
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,797	—	647	3,445	—	3,445	△3,445	—
計	1,163,365	3,353,146	781,290	5,297,802	14,980	5,312,783	△3,445	5,309,337
セグメント利益 又は損失(△)	93,949	△229,923	9,578	△126,396	△87,125	△213,521	△100,659	△314,181

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△100,659千円には、セグメント間取引の消去△391,529千円、各報告セグメントに配分していない全社収益482,117千円及び全社費用△191,247千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。